

日本の北、北海道西海岸「るもい」が光と人で燃える・萌える。

'96るもい 呑濤まつり

北国の夏は短い。暑い日はそう続かない。8月におもいっきり、港のある街「るもい」の夏のまつりを盛り上げたい。
「るもい呑濤まつり」は見て楽しむ、参加して楽しむ。そんな「まつり」にしたい。



8月2日(金) 午後2時(錦町公園)
サッカーPK合戦
午後7時
千人踊りパレード
3日(土) 午後6時30分
あんどん祭り
4日(日) 午後8時(留萌港)
納涼花火大会

「あんどん」の作りかた

1. はりがわで形をつくる
2. 中に電球を入れる
3. 障子紙をはる
4. 色づけ

※色づけの前に3つほど線ドリをさるときれいにできるヨ!!

平成7年度海水浴客数

浜中	87,817人
黄金岬	33,180人
塩見	29,478人
合計	150,475人

過去5年で一番多かった、平成3年度の226,200人と比較すると落ち込んでいますが、夏の天候にも大きく左右されています。

市内の海水浴場がオープンします
黄金岬海水浴場 7月6日(土)
塩見海水浴場 7月6日(土)
浜中海水浴場 7月7日(日)



「滝川市 高嶋さん」6/18「浜中」
「今日は、家族で釣りをしにきました。浜中は砂浜で子どもが遊ぶにはよい場所です。浜益もありませんが、道がくねって歩いて妻がいやがります。ここは来やすい所です。」
「バケツの中にはかわいいカレイが2尾泳いでいました。」



留萌夏物語

留萌の夏・海への思い

海へのこだわり
それはいままでの留萌への想い
これからの留萌への思い

留萌市の海水浴場は瀬越、浜中、塩見が中心となっていました。

瀬越と浜中の海浜は一連のつながりとなっており、かつて瀬越の浜は往時、市内最大の海水浴場として栄えたが、現在海岸侵食のため海水浴場として不適となり、代って浜中へ移動しています。

浜中海水浴場は海水がきれいなうえ、おだやかなので最適といえるでしょう。

塩見海水浴場は留萌駅から約3kmに位置し、羽幌線のバスがたえず走っていて交通の便がよく、後方の赤白の灯台が海水浴客をよるこぼせた最も古くひらけた海岸で海水浴場でした。

黄金岬は昔から丘陵地帯の岩が数百mにわたって海岸をおおい、そのまま海中に没入していたが、そのままだと港の土台石として切

り出され現在の形としてのこつて

います。

今は海浜公園として子ども連れの家族などが、かに釣りなど岩の遊び場として人気があります。

昔の人たちの思いの中にも、今のわたしたちの思いの中にも、海というものが「じーんわり」としみこんでいるような気がします。